

手をつなごう2007

平成18年 6月25日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 8

自立活動研修会

自立課題を作ろう
教材づくりからの
構造化

6月14日に職員の自立活動研修会を行いました。

岡山南養護でコーディネーターをしておられる重本喜美子先生に講師をお願いし、教材づくりに関しての知識を学び、実際に教材を作成することを通して構造化についての理解を深めました。

前半は自立課題作成のポイントや実際の例についてお話しいただき、後半は実際に作ってみながら助言をいただきました。使える教材ができる+構造化の勉強ができる...とってもお得な研修となりました。



ニーズ調査

ニーズ調査

特別支援教育について先生方が最も困っておられること—その2

前号で報告した A から J 以外に困っておられることです。(自由記述)

幼稚園

- 保護者に理解してもらうまでが大変。
- 巡回相談員に支援を要請した時、各園・校へ早く来て欲しいと思う。

高等学校

- 日常では困ることはないが、何かのために対応できる体制づくりはしておきたいと思っている。

中学校

- 子どもたちに対する差別・偏見。
- 人的資源のなさ(教員の定数・配置が少なすぎること、専門性のある人、機関の担当が少ないこと)
- 通常学級内で他の生徒も認識する中で生徒の自尊心を大切にしつつ支援すること。

小学校

- ケース会の効果的な持ち方。(進め方)
- 個別の指導計画の作成や活用法。
- 1対1での支援が必要なのに、担任一人が同時に複数の児童を指導しなければならない。効果的な指導ができにくい。

